



かじおか香織のマニフェスト 第7弾

「一人一人を大切にする教育、
新しい時代に対応した学びの形」を目指します

プロジェクト 3 安全な通学路を増やします。

●現在通学路の安全確保のために毎年1回の合同点検を実施し、対策を講じていますが、合同点検に加えて、児童生徒、保護者の目線から危険な箇所を報告してもらう「もしかもマップ」を導入します。「もしかもマップ」は通学路を親子で歩いて確認し、危ないと感じた箇所をスマートフォンなどで簡単に登録できる仕組みであり、通学路の危険箇所の見える化と通学路マップのデジタル化を行い、いつでもだれでも通学路の安全を確認できる仕組みを構築します。

実現したいこと

「もしかもマップ」を導入し、
通学路の危険なところを
デジタル化し、スマートフォン等で
登録・確認できるようにします。

プロジェクト 4 小学校の規模を地域事情に沿って適正にします。

●現在は、黒内小学校は学校全体で31学級以上の過大規模校化の継続、大野小学校、高野小学校、御所ヶ丘小学校、松前台小学校は11学級以下の小規模校化、と学校規模の最適化が図れていない状況です。黒内小学校区では、通学区域の変更、スクールバスを利用した特定地域選択制度などの対策を開始していますが、市全域の学校規模の適正化に向けて、今後のロードマップを示し、適正規模の学校作りを早急に進めていきます。

実現したいこと

地域ごとの児童数の増減に伴い、
学区の変更・スクールバスの利用
等の対策を図り、市全域の学校
規模の適正化をはかります。

●今後のスケジュール

○各地域の対話集会

月 日	会 場	時 間
10月6日(日)	郷州公民館	10:00～11:30
10月12日(土)	中央公民館	
10月26日(土)	高野公民館	

是非、お気軽にご参加ください！



Profile

■昭和57年1月3日生まれ
■ひかり幼稚園(守谷市本町)卒園
■取手市立永山小・中学校卒業
■茨城県立土浦第一高等学校卒業
■東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業
■元常陽銀行守谷支店 支店長代理
■2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中

女性市長と
新しい守谷をつくる会

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
TEL : 0297-38-5593
FAX : 050-3145-2882
E-mail : office@kaori-moriya.com
Web : https://kaori-moriya.com

かじおか香織に共感してくださる方、ご支援してくださる方を募集しております。
詳しくは下記のお電話・LINE・HPよりお問合せください。

QRコードから各種SNS
にアクセスできます。

X f y t v

討議資料



完全
無所属



守谷市議会議員

かじおか 香織

民間企業17年の経験と女性管理職の実績を活かし、2歳児の母親としての視点から、子育て世帯に選ばれ続ける守谷を目指し、安定財源を確保したうえで、安全安心の高齢者福祉を実現します。

今こそ、流れを変えるとき！

マニフェスト第7弾	●教育施策の現状の課題について……1～2p
【目次 CONTENTS】	●かじおか香織が実現したいこと……3～4p

「一人一人を大切にする教育、
新しい時代に対応した学びの形」へ

教育施策の現状の課題

① スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー

- ・スクールソーシャルワーカーは守谷中学校区、愛宕中学校区、御所ヶ丘中学校区、けやき台中学校区に1人ずつ計4人配置されており、保護者がスクールソーシャルワーカーに相談する際は学級担任や教頭に申し込む仕組みとなっています。
- ・守谷市ではすべての学校(小学校9校、中学校4校)にスクールカウンセラーが配置されています。
- ・文部科学省の「令和4年度・学校保健統計調査」によると、茨城県のスクールカウンセラーの配置時間は小学校で週4時間以上が7.7%、週4時間未満が69.4%、中学校で週4時間以上が39.2%、週4時間未満が45.0%となっていますが、全国平均でみると、小学校で週4時間以上が24.4%、週4時間未満が38.6%、中学校で週4時間以上が64.5%、週4時間未満が21.5%となっており、茨城県はカウンセラーの配置時間が少ないことがわかっています。

■スクールカウンセラーの配置(令和4年度)

区分	小学校				中学校			
	有	有	有	無	有	有	有	無
区分	定期配置	定期配置	不定期配置	無	定期配置	定期配置	不定期配置	無
区分	週4時間以上	週4時間未満	不定期配置	無	週4時間以上	週4時間未満	不定期配置	無
全国	24.4	38.6	28.3	8.7	64.5	21.5	11.6	2.4
茨城県	7.7	69.4	22.8	-	39.2	45.0	15.8	-



② 不登校

- ・守谷市の不登校児童生徒の出現率は、年々増加傾向にあります。小中学校全体の不登校率は、令和2年度に2.10%、令和3年度に2.81%、令和4年度は3.80%となっています。市は令和8年度に2.0%という目標を立てていますが、年々、不登校率が増加している現状では目標達成は難しい状況にあります。
- ・不登校児童生徒には、中学校4校と小学校4校（大野小学校、守谷小学校、大井沢小学校、高野小学校）に校内フリースペースを設置し、登校したいが教室に行くのは難しいという児童生徒に対する支援を行っています。

③ 通学路の安全確保

- ・守谷市は通学路交通安全プログラムを策定し、通学路の安全確保のために毎年7月又は8月に合同点検を実施、その結果から対策・改善必要箇所について、箇所ごとに歩道整備や看板設置のようなハード面の対策や交通規制や交通安全教育のようなソフト面の対策などの対策・改善を実施しています。関係者間で認識を共有するために小中学校ごとの「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し公表する、としています。

④ 小学校の規模

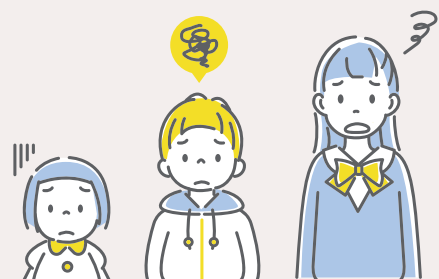
- ・守谷市通学区域審議会によると、小学校の学校規模は、黒内小学校が令和6年度に38学級、令和10年度に42学級に増加する見込みであり、学校全体で31学級以上ある過大規模校となっており、対策を講じない場合は過大規模校化が継続します。反対に、大野小学校、高野小学校、御所ヶ丘小学校、松前台小学校は学校全体で11学級以下の小規模校となっており、特に大野小学校、高野小学校は2030年代ごろから1学級あたりの児童数が10人台になることから、対策を検討する必要があります。
- ・令和7年度から黒内小学校では通学区域の変更を行い、大原地区、レクセルプラザ守谷、さつき台地区が近隣小学校の通学区域となる予定です。また、スクールバスを利用した特定地域選択制度により、松並青葉地区の児童は御所ヶ丘小学校または郷州小学校を選択可能となり、令和6年7月末の段階で特定地域選択制度を利用して黒内小学校以外の学校に入学する児童は43人、黒内小学校の入学予定人数は208人の予定となりました。
- ・市は令和7年3月に「守谷市立小中学校適正配置基本方針」を策定する予定としています。

■特定地域選択制度、就学校変更後の入学予定者数(令和6年7月31日現在)

小学校名	異動人数	入学予定人数
黒内小学校	▲43人	208人
御所ヶ丘小学校	+24人	66人
郷州小学校	+18人	76人
松ヶ丘小学校	+1人	91人

このような状況が続けば

- ・スクールカウンセラーの配置時間が週4時間以下と時間数が少なく、スクールソーシャルワーカーは中学校区ごとに4人のみのため、専門職との連携がとりづらく、悩みを抱えた児童生徒や保護者に対応しきれない状況になる可能性があります。
- ・不登校児童生徒数は増加を続けており、不登校が長期化する可能性があります。
- ・通学路の安全確保として、市は合同点検を実施し、対策後に「対策一覧表」及び「対策箇所図」を作成し公表していますが、情報管理や情報共有の面に対応が不足しており、保護者や児童生徒の安全意識の醸成がしにくい環境にあります。
- ・小学校の学校規模は、黒内小学校が増加傾向にあり、令和10年度に42学級に増加する予想となっており、過大規模校化の継続が不安視されています。また、大野小学校、高野小学校、御所ヶ丘小学校、松前台小学校は学校全体で11学級以下の小規模校となっており、特に大野小学校、高野小学校は2030年代ごろから1学級あたりの児童数が10人台になることが不安視されています。



かじおか香織が **ずっと住みたくなるまちへ**

実現したいこと



一人一人を大切にする教育、
新しい時代に対応した学びの形を目指して

4つのプロジェクトを進めます

プロジェクト

①

スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの
量と質の向上をすることで、子育ての安心安全を高めます。

- スクールカウンセラーは茨城県が配置する仕組みのため、茨城県に対して、現在の配置時間よりも多くするよう働きかけていくことで、今まで以上に相談しやすい状況を作っていきます。
- スクールソーシャルワーカーへの相談は学級担任や教頭に申し込む仕組みとなっており、学校関係者を通さないと相談が開始できないことで保護者の心理的ハードルが増し、相談を躊躇する可能性もあるため、総合教育支援センターや家庭児童相談室からスクールソーシャルワーカーに申し込める仕組みを作ります。

実現したいこと

スクールソーシャルワーカーの配置時間を増やし、
相談しやすい状況を作っていきます。

スクールソーシャルワーカーに申し込む
際の心理的ハードルを軽減するために、
学校関係者を通さずに申し込みが
できる仕組みを作ります。



プロジェクト

②

不登校児童が安心して学校生活を過ごせるようにします。

- 不登校児童生徒数は増加傾向にあり、専門機関が連携した取り組みが必要です。現在、中学校4校と小学校4校（大野小学校、守谷小学校、大井沢小学校、高野小学校）にある校内フリースペースを市内すべての小学校9校に拡大し、登校したいが教室に行くのは難しいという児童生徒に対する支援を強化するとともに、不登校まで至っていないが悩みのある児童生徒の避難場所としても校内フリースペースを活用していきます。
- スクールソーシャルワーカーを現在の4人から人数を増員することで、総合教育支援センター、家庭児童相談室、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーで連携し、こども一人一人に向き合った支援の取り組みを強化していきます。

実現したいこと

悩みのある生徒の避難場所として、校内フリースペースを
市内すべての小学校9校に拡大します。

悩んでいる子ども一人一人に
しっかりと向き合えるように、
スクールソーシャルワーカーを
現在の4名から人数を増員
します。

